

緊急
開催

デリカD:5誕生の瞬間を

編集部と一緒に見に行こう!

協賛

三菱自動車工業株式会社

http://www.mitsubishi-motors.co.jp

主催

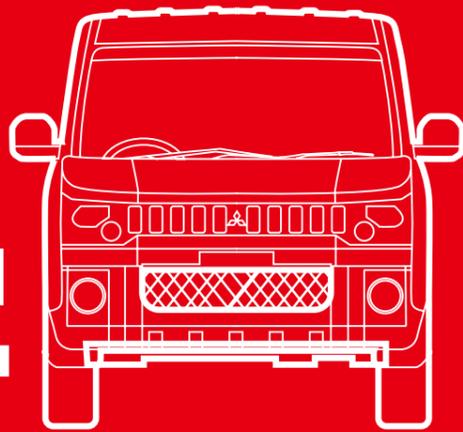
LET'S GO 4WD X DELICA
カスタムブック

TEXT ●高坂義信、佐藤直貴、編集部
PHOTO ●相場恒弘、浅井岳男、小出薫平

パジェロ製造

http://www.pajero.co.jp

工場見学



2016.12.3 (Sat) in パジェロ製造株式会社 協力

デリカD:5オーナーと行く ツアー



デリカD:5が誕生したのは2007年のこと、つまり遡ること10年前にあたる。ここでは長きに渡ってユーザーから愛されるデリカD:5の品質の高さを、生産拠点である「パジェロ製造」にて、改めて探ってみることにした。しかも、今回は緊急告知に応募してきた本誌の読者も伴って! いずれも生粋のデリカファンであり、実際にデリカD:5オーナーであるファミリーたち。もちろん、残念ながら選考にもれた方や「行きたかったけど日程が…」といった皆さんのために、当日の様相を追体験できる完全レポートをお届けしよう。



デリカD:5ができるまで ※今回の工場見学は、実際の製造工程を順番に回るワケではないため、ここに大まかな6工程を解説。

モノコックボディ+FFベースであるデリカD:5(やアウトランダー)と、フレーム付き+セミモノコックボディを持つFRベースのパジェロを同じ生産ラインで製造するという難題をクリアしながら、良品を生み出していくパジェロ製造。FF&FR車を同時に生産していく体制だが、大きく6つの工程でスピーディかつ丁寧に進められていく。

デリカD:5を製造するために独自の製造ラインを構築 最高の4WD・SUVが生まれ出される

三菱自動車工業グループの自動車製造会社のひとつとして、本社・工場を岐阜県加茂郡祝町酒倉に構える「パジェロ製造」。その名が示す通り「パジェロ生誕の地」として知られているが、パジェロだけでなくデリカD:5、アウトランダーの製造も一部行なう。実は、デリカD:5が登場するまで、モノコックボディ+FF構造のクルマを生産しただけでなかった(つまり工場の生産体制、ラインなどは、FRあるいはFRベースのSUVを製造する仕組みだった)。それならFF専用のラインをもうひとつ作れば良いのだが、敷地スペースやコストの問題など、話はそう単純ではない。そこでパジェロ製造では試行錯誤を重ね、ついにFRもFFも1本のラインで完成させる工法を確立。その「FR & FF同時生産」こそがパジェロ製造、最大の特徴だ。



デリカD:5ファンなら一度は体感したい工場見学ツアーを開催

ミニバンとSUVを融合した独自のキャラクターで、オーナーのライフに唯一無二の豊かさを与えてくれるミツビシ・デリカD:5。2007年の登場からすでに10年目を迎えているが、その人気は衰え知らず。新車・中古車を含め、オーナーは依然として増加中だ。もちろんデリカD:5のアフターマーケットパーツも活況を呈し、本誌としても重要な1台となっている。そんなわけで今回、本誌が企画したのがデリカD:5オーナーのための「D:5製造工場見学」だ。デリカD:5の魅力をどのように生み出されているのか? また実際のオーナーさんたちに、D:5生誕の瞬間を体感していただきたいと、去る12月3日、ついに実現するに至った! もちろん編集部としては、誌面やFace bookだけでなく、別のアプローチとして読者の皆さんへ何かサービスできないかと「三菱自動車工業」および「パジェロ製造」の多大なご協力のもと、主催させていただいた次第だ。ご存知かもしれないが、デリカD:5の製造は「パジェロ製造」が行なっている。同社はその名の通り、ミツビシの名オフロード車「パジェロ」の製造を1982年のデビューから現在まで一貫して手掛けている。そして、その製造ラインにD:5やアウトランダーも組み込まれている。そう、FR & FF車・同時生産が、同社最大の特徴である。それでは、いよいよ工場見学のスタートだ!

1 パネルの製造

ボディサイドパネルなどを仕上げる大型の「TRFライン」、中モノの外板や内装部品を仕上げる「Aライン」、補強パーツなど小さな部品を作る「Bライン」で構成。まず鋼材を全体形状成型し、次にスクラップ切落、フランジ曲げ加工、穴開けなどが施される。プレス後のボディパネルは、製造スタッフがパネル表面を砥石で磨きながら変形や割れなどを検査し、溶接組み立てラインへと回される。



2 ボディの製造

デリカD:5専用につけられたラインでは、ロボットで自動的に4工程、有人でドアの取り付けと品質確認をする3工程を実施。最初に、アンダーフロアとエンジンルームパネル、サイドパネルが溶接治具に置かれ、ロボットにより溶接。続いてルーフを載せて、ボディ骨格が完成。さらに組み立て工程では、樹脂パーツとなるフロントの両フェンダーの装着も。その後、塗装ラインに送られる。



4 シャシーの合体

もともと、フレーム付き車用の組み立てラインしか持っていなかったパジェロ製造。デリカD:5のパワートレイン&シャシーは治具に乗せて流され、上から吊るされ流れてくるボディを被せていく。その組み付けの瞬間、スプリングを治具で縮ませ、一気にボディとシャシーをボルトオン装着するという。こうするとFFベースのモノコックボディ車でも、何ら問題なくボディ&シャシーをドッキングできるのだ。



3 シャシーの製造

プレス、溶接組み立てなどのボディ製作と並行して行なわれている。エンジンやトランスミッション、サスペンションなどのシャシー部分の製作。モノコックボディのデリカD:5は、位置決めを行なう治具の上に組み上げたパワートレインや、サスペンションをセットして、そのままラインに流し、同時に流れてくるボディをその上に重ねていく。ちなみに、パワートレイン回りは、別工場を組み立てられている。



5 組立と艤装

パジェロ製造では「ドアレス艤装工法」を採用し、他のラインで組み立てられたインパネモジュールの組み込みやインテリアの仕上げ、ウインドーやヘッドライトといったエクステリアの仕上げを行なう。ドアの架装がインテリア艤装の後になることで、作業の効率化が図られている。さらにリアスライドドアは、宙に浮かせるように作業する「ドアパラソール」によって対応しているのも特徴だ。



6 検査

組み立てられたデリカD:5は、まず艤装検査で、指示されたオーディオ類や機能部品などを確認。続いて、ホイールアライメントや光軸、サイドスリップ、変速機やブレーキ関係を最新鋭の機器により検査。さらに位置決め検査では、エアコンやオーディオなど電装パーツの作動、灯火類、ECUの作動状況、下回りではオイル漏れなどをチェック。最終的に、実走行テストで車体各部からの異音なども確認する。





塗装説明の次は組み立て工場へ。ここでは従業員の方が研修で行なうボルトつかみと締め付け体験も(実際の練習は重手をした状態で5個のボルトをつかむ)。子供向けにボルトの替わりにアメ玉での体験や、インパクトによるボルト締めで歓声も上がる。



ドアやルーフ、ボンネットなどの各種パーツの仕上げ作業が行なわれ、それらは組み上げられるのを今や運しそと待っている。



溶接から来たボディは塗装工場に入る。まず47℃の水槽で油などを落とし、電着塗装で下地作りを行ない、隙間などをシーリングし、中塗りとなるベース塗装を実施。そして最後に本塗りを取行。今回はビデオによる説明が行なわれた。



治具に乗せられたシャーシとサイドパネル。ドアなどの外板はないがD:5と認識できるカタチになってきた。また、ここでは樹脂パーツとなるフェンダーなども取り付けされる。



組み立て工場内のCラインでは安全装備の説明を受けつつ、エアバッグがどう開くかの体験も。安全装備が効果を発揮するのは、シートベルト着用時であることもおさらい。



組み立て工場のDラインではシートをはじめ、内装パーツが取り付けられる。この時にドアが付いていると作業しづらいため、最後にドアを装着する「ドアレス工法」を用いて作業を行なう。

バンパー、タイヤなどもここで装着していく。だんだんとクルマらしい姿になってきたことに気付いた子供達の、作業を見守る様子にも力が入っていた。



オーバーヘッド搬送されるボディ、ベルトコンベアでシャーシが運ばれている姿は、まるで秘密基地のようだ。そして上からボディ、下からシャーシがやってきてドッキング。ここでは、1台につきおよそ86秒で素早く組み上げる。ちなみに、各部の締め付けに使用する工具、締め付けトルクなども定められており、基準通りに組み付けを行なうことでラインが正常に流れていく。再びオーバーヘッド搬送されるボディはその後、内装やタイヤを装着するCラインへと運ばれていく。



オーバーヘッド搬送されてきたバジェロのボディは、ロボットアームによって、的確に溶接されていく。その様は、まさにSF映画のようで圧倒される。ここで、ルーフも溶接する。



フロアとサイドパネルが合体してバジェロと分かる姿に…! 細かな部分の溶接は人の手によって行なわれる。ルーフはこの後に組まれていく。



バジェロ製造の代表取締役 辰巳社長から歓迎の挨拶、さらに別の従業員から同社に関する説明を受けたのち、製造ラインへと向かうため、イヤホンガイドの使い方を習う。安全のための保護用メガネや帽子を着用したら、2班でレッツ・ゴー!!!



スタッフの誘導のもと製造ラインへ足を踏み入れると…そこには完成したばかりのバジェロが現れた! その見学スタートであり、製造ラインのゴールでもある。否が応でも期待は高まる。



バジェロ製造の敷地面積はおよそナゴヤドーム4つ分。より効率的な製造ラインとするため、オーバーヘッド搬送を行なっているのも特徴だ。頭上で展開される光景にワクワク感が高まっていく。

バジェロ製造では、お目当てのデリカD:5のほか、バジェロ、そしてアウトランダーの一部工程も担当。目の前ではバジェロのボディ製作が行なわれていた。



バジェロ製造の瞬間到来! いよいよ工場見学、本番スタート!

FACTORY TOUR 2016.12.3

特別に公開された工程を含め魅惑の工場見学ツアーは楽し過ぎる

本誌「レッツゴー4WD」と「三菱自動車工業」そして「バジェロ製造」とのコラボレートで実現したのが、デリカD:5オーナーのためのD:5工場見学。本誌や三菱販売会社からの告知で集ったのは計12組(残念ながら当日病欠も;せめて記念品は贈呈しておきます!)。バジェロ製造のある岐阜県や愛知県など中京地区はもろろん、関東や関西方面から駆けつけてくれたデリカD:5オーナーさんもいた。

12月3日、午前8時過ぎ。寒空の中、それぞれの想いを愛車に乗せてデリカD:5がバジェロ製造の駐車場に続々と集まってくる。参加者は小さなお子さんのいるファミリー、熟年ご夫妻、免許を取ったばかりの息子さんの運転でやってきた親子連れなど、ライフステージもさまざま。そんな方々に、この工場見学を申し込まれた理由を伺ってみたいが「デリカの故郷を見てみたかった」「バジェロ&デリカが好きで1度は来てみたかった」、さらに「子供にクルマのできる様子を見せたかった」などなど、それぞれに熱い想いが感じられる。当然みんな工場に到着するなり、テンションマックス! といった感じだ。

そして午前9時、工場内の特設スペースに集まった参加者に向けて、バジェロ製造代表取締役 辰巳社長からご挨拶をいただき、見学ツアーがスタート! 製造工程の概要をバジェロ製造の従業員の方から直接聞きながら、12組が二班に分かれ、工場の中へと入っていった!!

2000tの圧力で生産されていくボディパネル、それらを組み合わせる溶接組み立てラインでは、巨大な溶接マシンがまるで生きている恐竜のような動きで、火花を放っている。小さなお子さんは、思わずお父さんにしがみついたりしてしまっただけ。ちなみに、デリカD:5の溶接ラインは、地元小学生向けなどで行なわれている社会科見学などの、一般的な工場見学、では公開していない工程なのだとか。今回の参加者だけが、見ることができた迫力の光景に、お父さんたちも子供たちに負けず、目を大きくしていた。また、40ページで取り上げたデリカD:5の製造工程を順番に回るワケではないため、次にどんなことが行なわれているのか、ドキドキの連続であったのも間違いはない。

やはり圧巻だったのは、ボディとシャーシがドッキングするシーン。FRベース+セミモノコックボディのバジェロと、FFベース+モノコックボディのデリカD:5を同じラインで製造するのが、バジェロ製造ならではの特長でありノウハウなのだが、その工程を素早くしかも簡単にこなしてしまふ従業員さんの匠のワザに、参加者たちも驚嘆の眼差しだった。「ただの鉄板がクルマになって動き出したの感動しました!」「溶接の機械とか、すごい迫力でびっくりしました!」、子供もさっと何か感じてくれたはず」などなど、見学後の参加者の皆さんは、興奮覚めやらぬ様子だった。

デリカにまつわる楽しい催し物が盛り沢山



塗り絵と
積み木
コーナー



キッズスペースでは定番の積み木コーナーのほか、それ以上に子供が熱中したのが、ミツビシ・デザイン本部スタッフが常駐の塗り絵コーナー。たかが塗り絵、されど塗り絵。デフォルメされたデリカやアウトランダーを好きなカラーリングで染め上げるのは、楽しい作業なのだ。



開発者と
対話の機会

開発資料などを閲覧しながら、デリカの開発者や開発者と対話することのできるふれあいコーナーも設置。大人向けコンテンツとして、一見静かだが確実に場が高揚しているのが感じられた。



サプライズ
じゃんけん



額装された開発スケッチなどを争奪するじゃんけん大会が急進行なされた。イベントの最後に盛り上がりも最高潮に達した!

閉会式で「デリカD:5プロジェクト」の責任者の1人である三菱自動車 マーケティング推進部長の池部氏が登壇。デリカオーナーでもある参加者たちに感謝した上で「これからはデリカD:5とともに素敵なカーライフを! レッツ・ゴー!!」という本誌にちなんだ掛け声で、パジェロ製造工場見学ツアーを締めくくった。

デリカファンなら絶対欲しいお土産

募集段階から告知していた今回のイベントの限定アイテムが、このオリジナルTシャツ。デリカD:5×パジェロのバックに工場をデザインしたイエローがまぶしい。まさかなTシャツに自分でシルクスクリーンによってロゴをプリント。参加した家族全員分をプレゼントするという催しが行なわれた。早速お子さんに着用させるデリカファンの姿がとても微笑ましい。



パジェロ製造オリジナルせんべい&クリアファイルなど、Tシャツ以外のお土産として用意されたのもすべてデリカD:5にちなんだもの。中でもオーナーの注目を集めたのがデリカカレンダーとエコバッグ。これは、元三菱自動車デザイン本部 副本部長にして、初代H81系eKワゴン、eKスポーツのチーフデザイナーであり、デリカD:5ではデザイン全般の監修責任者を務めた「石井成久」氏の手による水彩画をモチーフにしたものだ。



大人がうれしいお土産だけでなく、子供向けにはお菓子をプレゼント!

工場見学を終えた後は、昼食タイムということで、一般的な工場見学でもなかなか例のない社食体験。広大な社内食堂が工場の規模を物語る。この日、用意されたメニューはパジェロ製造の社員の皆さんと同じ。トンカツ定食、味噌ラーメン、ポークカレー(甘口)、豚キムチ丼といった、スタンダードなメニューは大人も子供も大好物! デリカD:5誕生の地で食事するなんて、テンションも上がるってものです。



社食体験



貴重な体験をした超ラッキーな当選者たちの最高の笑顔がデリカライフの1ページに刻まれる!

デリカライフの思い出としてピカピカに刻まれた最高の1日は、記念撮影を行なって解散。最後にスタッフ全員によるお見送りが実施されたが、どの参加者も素敵な笑顔で家路に着いたのだ。



大人も子供も楽しめるデリカファン垂涎のイベントメニューを多数用意

メインの工場見学を終えてからもイベントはまだまだ続く。我々も含むスタッフによるさまざまな催し物で楽しい1日を過ごしてもらえた。と信じています。例えば、パジェロ製造の社員食堂で社食グルメを体験したり、ミツビシ開発部のスタッフと語りあったり、さらにミツビシ・デザイン本部スタッフが用意した塗り絵は、子供のハートに直撃していたようだ。閉会式ではデリカD:5開発スケッチを巡る白熱のジャンケン大会も行なわれ、デリカ愛と家族の絆がますます深まることとなった。

また、レアなお土産の数々が用意されていたこともファンにとっては嬉しい限り。実際に自分でプリント体験をした当日限定のオリジナルTシャツや、パジェロ製造オリジナルせんべい&クリアファイル、デリカカレンダー、オリジナルエコバッグ等々が配られ、あちこちでデリカオーナーの笑顔が溢れていました(その一部を本誌読者にもプレゼント。詳細は128ページへ)。

楽しい時間はあっという間で、左ページの集合写真を記念撮影した後、最後はスタッフ全員によるお見送りへ。どの参加者もデリカD:5のウィンドーから極上の笑顔を送ってくれたのが本当に良かった。そんなわけで本誌としてもまずは参加した皆さんが、喜んでいただけたようでひと安心。デリカはもちろん、また他の4WD・SUVでも、こんなイベントが実現できたらいいなあと、そんな風に考えております。



山本洋一さん一家



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 2年目

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 音から「デリカ」に乗りたかった

購入時にデリカと比較した車種は?
 なし

デリカでしたい/していることは?
 家族でキャンプが楽しかった

デリカに乗って良かったことは?
 悪路を安心して走れる

オン/オフ問わず走行性能



川井茂幸さん一家



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 4年目

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 子供連れのドライブが楽しかった

購入時にデリカと比較した車種は?
 ありません

デリカでしたい/していることは?
 リフトアップしてM/Tドライブを履く

デリカに乗って良かったことは?
 M/メーカー車にない個性と走り

もっと泥臭くても良いがとにかく個性を感じる



栗山利夫さん夫妻



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 1年3か月

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 車中泊

購入時にデリカと比較した車種は?
 デリカ1本です

デリカでしたい/していることは?
 雪道ドライブ車中泊など

デリカに乗って良かったことは?
 雪道での安定した走行性

スタイルと機動性、室内の広さも車中泊に◎



藁科浩基さん一家



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 半年

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 子供とたくさん思い出を作りたい!

購入時にデリカと比較した車種は?
 特になし

デリカでしたい/していることは?
 雪の中を走ってみたい

デリカに乗って良かったことは?
 行けない場所なし、どんな時も前進!

パワーで力強く運転しやすく、顔回りも好き



外岡凌さん一家



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 9年目

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 力強いデザインで自転車も積める

購入時にデリカと比較した車種は?
 パジェロ・ロング

デリカでしたい/していることは?
 長距離ドライブ車中泊

デリカに乗って良かったことは?
 車内を広く大きく使うことができる

10年間変わらない外観、ちょうど良い大きさ



山内龍也さん一家



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 8か月

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 人が多く乗れる4WDユーティリティ

購入時にデリカと比較した車種は?
 ヴェルファイア

デリカでしたい/していることは?
 キャンプそのためのラダーもほしい!

デリカに乗って良かったことは?
 悪天候でも4WDだと走り安定

見た目、走破性、装備、カスタムのしやすさ



奥様の祥恵さん、長男の龍空くん(4)、長女の柚葉ちゃん(0)

4人家族で参加の山内さん。購入時は大型ミニバンと比較して「アウトドアユティリティ」の走破性の高さが魅力です。D:5を選んだのは「D:5でたくさん思い出を作りたい」という思いから。キャンプも大好きな山内さん。D:5で家族の絆をより深めたいと、安心してキャンプが楽しめるD:5を選んだ。家族の絆をより深めたいと、安心してキャンプが楽しめるD:5を選んだ。

総勢12組の参加者が思う「デリカ愛」は一体どこにある?

参加オーナーの工場体験レポートと愛車の仕様紹介

最後に12月3日(土)に開催された「パジェロ製造工場見学ツアー」に見事当選し、超ラッキーなイベントに参加できた「リアル・デリカD:5オーナー」が思うデリカ愛を語ってもらおう。家族の感想も含めた工場見学体験についても聞いてみた。



2016.12.3(Sat) in パジェロ製造



橋本裕介さん一家



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 3年目

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 唯一の8人乗り4WD船を引くため

購入時にデリカと比較した車種は?
 特になし

デリカでしたい/していることは?
 キャンピングカーを牽引して旅行したい

デリカに乗って良かったことは?
 台風で冠水しても走れた&車中泊

走れない場所はほぼなく、カスタムも楽しい



小藤宏光さん一家



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 3年目

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 アウトドアの似合う4WDが欲しかった

購入時にデリカと比較した車種は?
 デリカしか考えてない(4WDディーゼル)

デリカでしたい/していることは?
 オフロード走行

デリカに乗って良かったことは?
 雪道での安定感、野外での存在感

ディーゼルエンジンがもたらす力強い走り



金井晴伸さん一家



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 1年目

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 走破性

購入時にデリカと比較した車種は?
 ノア・HV

デリカでしたい/していることは?
 CMで見えるような雪道走行

デリカに乗って良かったことは?
 アウトドアで乗る車の先の奥まで

見た目・性能共にワイルドなところ



橋本宏己さん一家



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 1年目

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 4WDディーゼルハイエースはちょっと

購入時にデリカと比較した車種は?
 ハイエースキャラバン

デリカでしたい/していることは?
 本場の雪山・雪国に行きたい

デリカに乗って良かったことは?
 高速での運転がとても楽になった

少しマニアックな感じ、良い意味での古さ?



大崎俊一さん一家



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 2年目

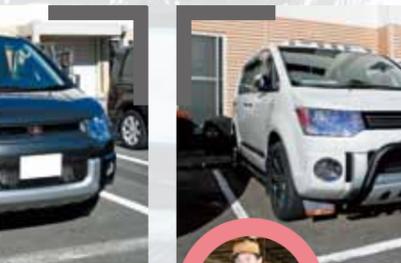
デリカを買ったきっかけ・理由は?
 4WDが好きでD:5に乗りたかった

購入時にデリカと比較した車種は?
 D:5オンリーで検討

デリカでしたい/していることは?
 リフトアップオートキャンプ

デリカに乗って良かったことは?
 雪が降った日も楽々行動ができる

スタイルはもちろん家族で使える(遊ぶ)



平松英美さん



OWNER'S DATA
 デリカ歴はどれくらい?
 2年目

デリカを買ったきっかけ・理由は?
 数あるミニバンでも独特の世界観

購入時にデリカと比較した車種は?
 シエンタフリード

デリカでしたい/していることは?
 家族との思い出作り、SNS仲間との交流

デリカに乗って良かったことは?
 イベントでオーナー仲間が増えた

ロングドライブが楽で、自分流にして乗れる



3列シートのミニバンが欲しくてさまざま検討したが、ちょうどD:5が予算に収まったことから購入。「その後はみんな交流を深めています」という平松さん。自分なりにアレンジしたフロントディスプレイなど、愛車のカスタムにも熱心。